

## 地域づくり協議会だより



HPをご覧ください!

発行日：平成30年4月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会  
〒木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005

メールアドレス

[k-chiki@orihimene.jp](mailto:k-chiki@orihimene.jp)

ホームページ

<http://138kisogawa.org>

検索：木曾川町連区

### 木曾川町独自の事業が始まります

木曾川町連区地域づくり協議会（地域づくり協議会）は、発足後4年が経過しました。地域づくり協議会は、4年が経過すると5年目以降行政が行う事業とは別に地域が独自に企画・要望する事業（提案事業）を一宮市に申請し、承認を得ると事業が行えるという制度があります。

木曾川町も昨年以下の11事業を、提案事業として申請し認められました。

提案事業の総事業費は約610万円で、平成30年度は261万円が、予算化されました。

#### 提案事業の内容

- ① 防災倉庫の資器材購入
- ② 避難所運営マニュアルの作成
- ③ 防犯カメラの設置
- ④ お天気講座の開催
- ⑤ 認知症徘徊訓練練習会の開催
- ⑥ 木曾川町の福祉施設など社会資源のマップ化
- ⑦ 通学児童見守り活動支援
- ⑧ 木曾川町の歴史・文化・名所旧跡等を新旧写真等のパネルで紹介
- ⑨ 木曾川町の歴史・文化・名所旧跡等を新旧写真等で冊子化全戸配布
- ⑩ 木曾川町の歴史・文化を教育の場に生かす（雀のお宿、イタセンパラ、流木アートなど）
- ⑪ 協議会のホームページをリニューアルし見やすくする



#### お天気講座の開催（提案事業の内容 ④）

生活と天気の関係を分かり易く説明していただきます。

私たちの生活で利用できるヒントに目覚めるかもしれません。是非、受講をされ生活に反映してみてもはいかがでしょうか。

講師は気象予報士の寺尾直樹さんです。申し込みは町会長さんか木曾川事務所総務窓口課ですので、回覧をもう一度ご覧になってください。

##### 【寺尾さんのプロフィール】

1965（S40）横浜市生まれ

1999（H11）気象予報士取得

現在「ほっとイブニング気象キャスター」として活躍中



寺尾直樹

## 通学児童の見守り活動支援（提案事業の内容 ⑦）

地域づくり協議会では、各小学校およびPTA と協力をして子どもたちが事件・事故に巻き込まれることなく安心・安全に登下校ができる社会を目指しています。

その一環として通学児童見守り活動を支援していきます。現在でも地域の有志の皆さんのご協力の下、登下校児童の見守り活動を進めていただいております。さらに多くの方々のご協力をお願いします。**見守りボランティアさんの活動は、あくまでもボランティアですので毎日必ずということではなく、できる日に、できる時間、できる場所で、できることをやっていたいただければ結構です。登下校時に通学路での子どもたちの付き添い活動や見守り活動等です。ベスト・帽子・横断旗が支給され、着用して活動します。登下校の児童見守り活動にご賛同いただける方は、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。**

### ▼ 応募申込書の提出先

- 木曾川事務所 総務窓口課 (84-0005)
- 黒田小学校 (28-8740)
- 木曾川西小学校 (28-8741)
- 木曾川東小学校 (28-8742)



## 「認知症講習会」が開催されました

H30.2.17 (土) に各町内会長、役員さん約 50 名の参加を得て、「認知症サポーター養成講座」が開催されました。講師は、地域包括支援センター「コムネックスみづほ」の松井康明さんをお願いしました。認知症についての正しい知識と、認知症の人や家族にどう対応すると望ましいかなどを、ビデオ（大牟田市の事例）で紹介していただくなど細やかな手法で良く理解できました。

また、参加者には質問形式や原因は？などと問いかけ、講座が一体感を持つような楽しい雰囲気での講座となりました。



会長のあいさつにもあったように、少子高齢化を迎え、10年後には65歳以上の5人に1人は認知症の症状が発生すると言われていたそうです。

ただの「老化」なのか、「認知症」なのかを周りの人が早く気づいて、見守り、サポートしていくことが必要であることを学びました。

認知症＝「人生の終わり」「悲惨」などの悪いイメージを払拭し、ユーモアとファンタジーを持って対応すること、**本人の自尊心を傷つけず**出来ることを増やすため、**ゆっくり分かりやすく伝える工夫**をすることも必要であるということも分かりました。

地域の方が優しく温かい目で見守ることによって、認知症になっても、今までと変わらず、安心して幸せに暮らせること、そして「木曾川町はみんなで声をかけ合い、助け合える温かい素敵な町ですよ」と自慢できるようになりたいですね。地域づくり協議会では、来年度以降も「認知症サポーター養成講座」を開催し、一人でも多くのサポーターさんを増やしていきたいと思っています。

身近に認知症はじめ、高齢者の介護、生活全般でのお困りごとがありましたら、市の委託事業である包括支援センター・コムネックスみづほ（木曾川地区担当）に相談することが出来ます。

一人で悩まず、相談してください。(TEL 86-5333)

